

Oracle+.NET

3つの誓い



EMCジャパン株式会社
ソリューション・コンサルティング部
一志 達也 ICHISHI, Tatsuya
<http://www.emc2.co.jp/>

Amazonで試す
Webサービスの実際

特別編

最終回
+1

Amazon E-Commerce Serviceを使った アプリケーションの作成

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:
 - Amazon E-Commerce Service 4.0

Level



Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥WEBSERVICEディレクトリに収録しています。

¥AWS_EXAMPLE

本稿で紹介したサンプルアプリケーション

・CREATEDB.SQL

サンプルデータを作成するためのSQLスクリプト

はじめに

今回はVB.NET+Oracle DB (ODP.NET) を用いて、Amazon.comが提供するWebサービス (Amazon E-Commerce Service) を実行するアプリケーションを作成してみます。具体的には、書籍やDVD/CDをさまざまな条件で検索し、それを欲しいものリストとしてデータベースに記録したり、実際に購入したもののリストを作成したりします。本当の業務には適用できないでしょうが、企業で購入申請を行なうことを想定して、申請と承認の機能も設けることにしましょう。

Amazon E-Commerce Serviceでは、ショッピングカードの管理や実際の購入もできるのですが、今回はそれらの機能は利用しません。また、Wish List (欲しいものリスト) の管理や、中古品の購入なども行なえますが、それらの機能も利

用しません。その点は、あらかじめご了承ください。

また、誌面の都合上、プログラムコードの全体は掲載できません。ポイントポイントだけを掲載して解説を進めていきますので、ぜひとも付録CD-ROMのプログラムを開いて、あわせて参照しながら読み進めていただければと思います。

ECSの基礎知識

*ECSとは

ECS (Amazon E-Commerce Service) は、以前AWS (Amazon Web Service) と呼ばれていたものが、バージョン4.0になる際に名前も新たに変わったものです。Amazonを知らない方はいないと思いますが、書籍やCD/DVDをはじめとする世界最大級のオンラインショッピングサイトを提供する企業で、今年で設立から10年を迎えようとしています。

図1: ECSを利用するための手続き



図2: Amazon.comのWebサービスのページ

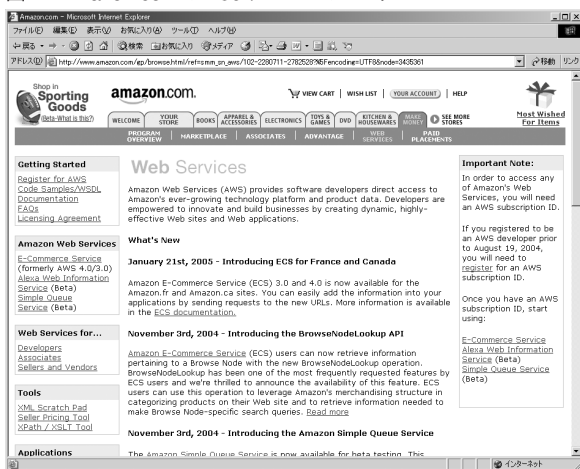
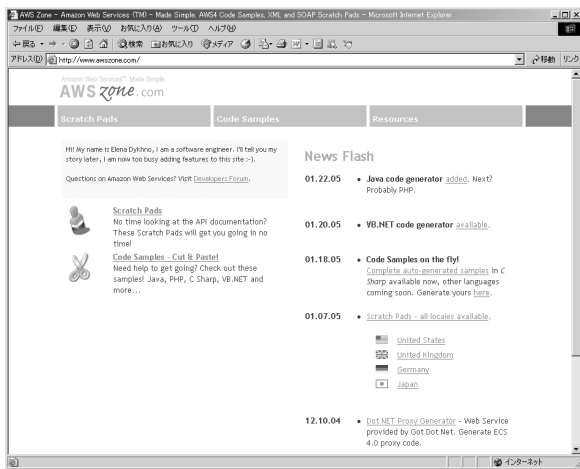


図3: AWSZone.com



そのオンラインショッピングの、ほとんどすべての機能をWebサービスとして提供するのがECSで、.NETやJavaなどさまざまな言語を用いてAmazonのサービスを利用するアプリケーションが作成可能です。

今回は、ECSの中でももっとも利用頻度が高いと考えられる、商品の検索機能を主に利用したアプリケーションを作成します。

* ECSを利用する準備

ECSは、誰でも無料で利用できるのですが、簡単な手続きが必要です。Amazonのサイト (<http://www.amazon.co.jp/>) へアクセスして、「Webサービス」と書かれたリンク (画面左側中央あたりにあるはず) を見つけ、それをクリックしてください。表示される画面には、ECSを利用するための手続きが、ステップごとに書かれています (図1)。

そこにあるとおり、デベロッパートークンを手して、その文字列を記録しておいてください^[注1]。手続きの中には、SDKのダウンロードもありますが、今回に限って言えば特に必要ではありません。SDKにはサンプルやマニュアルも含まれていますが、それらはAmazon.comのサイトに行けば、オンラインでいつでも見られるからです (図2)。

残念ながら、マニュアルを始め大半の情報は、英語で記載されています。また、一般のWebサイトなどでも、日本ではECS4.0に関する情報はまだまだ数が限られています。日本国内でのいっそうの普及のためには、日本語で提供される情報の充実を望みたいところです。

* ECSでの開発に有益なサイト

筆者が今回のアプリケーションを作成する上で、非常に役立つサイトがAmazonから提供されていますので、それらについても紹介しておきましょう。そのサイトの

注1) 付録CD-ROMのアプリケーションにおいて、デベロッパートークンは、AWS_Module.vbの中にパブリックの変数として格納してあります。また、Oracle DBへの接続に必要な、(データベースの) ユーザー名とパスワード、および接続文字列も同じようにDatabase_Module.vbに格納しています。デベロッパートークンを、みなさんが取得したものと置き換え、さらにデータベースへの接続情報も書き換えてからアプリケーションを利用してください。